



国道8号 加賀拡幅の概要

【概 要】

加賀拡幅は、一般国道8号の加賀市内の交通渋滞の緩和、交通事故の削減を目的とした現道拡幅事業です。

全国で初めて「PI※手法」により計画を策定した事業です。

※PI(パブリック・インボルブメント)

施策の立案や事業の計画・実施などの過程で、関係する住民や利用者などに情報を公開した上で広く意見を聞き、施策に反映する新しい事業の進め方。

区 間:石川県加賀市箱宮町～加賀市黒瀬町

延 長:6.4km

車 線 数:4車線

事業経緯:平成15年度

平成16年度

平成19年度

平成22年度

平成26年度

平成27年度

事業化

用地着手

工事着手

部分開通(箱宮町～松山町 延長2.0km)

部分開通(加茂町～黒瀬町 延長1.9km)

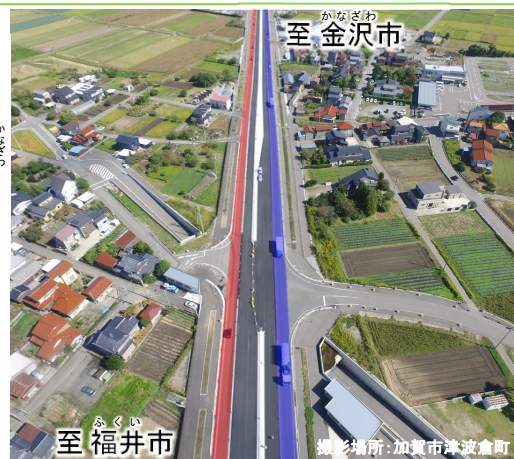
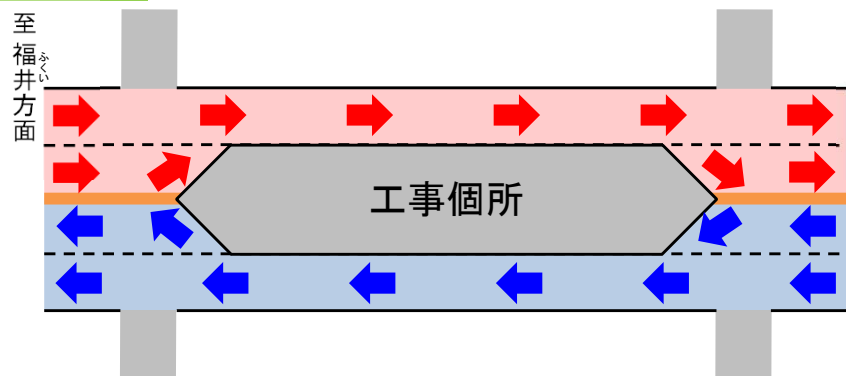
部分開通(加茂町 延長0.3km)

令和7年12月1日 開 通(松山町～加茂町 延長2.2km)

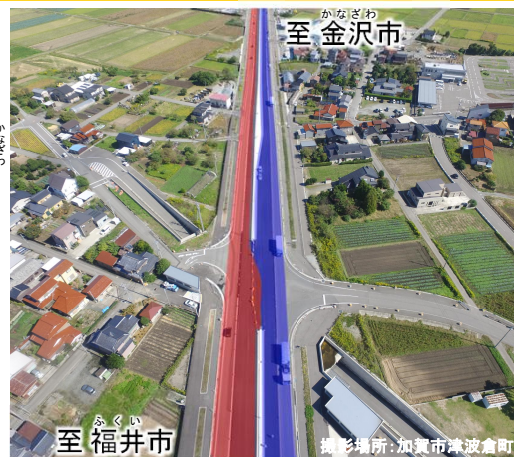
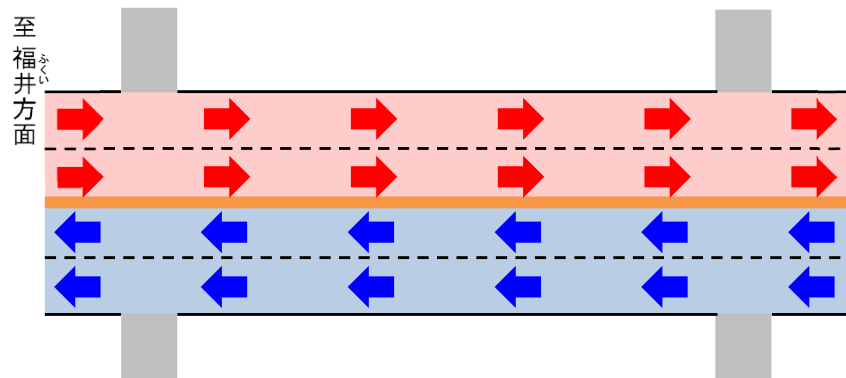
箱宮町～黒瀬町全線開通(延長6.4km)

4車線化イメージ

現在



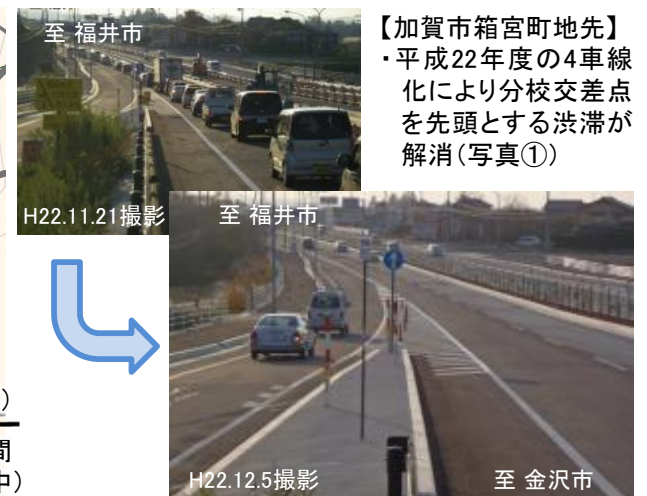
4車線化後(R7.12.1(月))



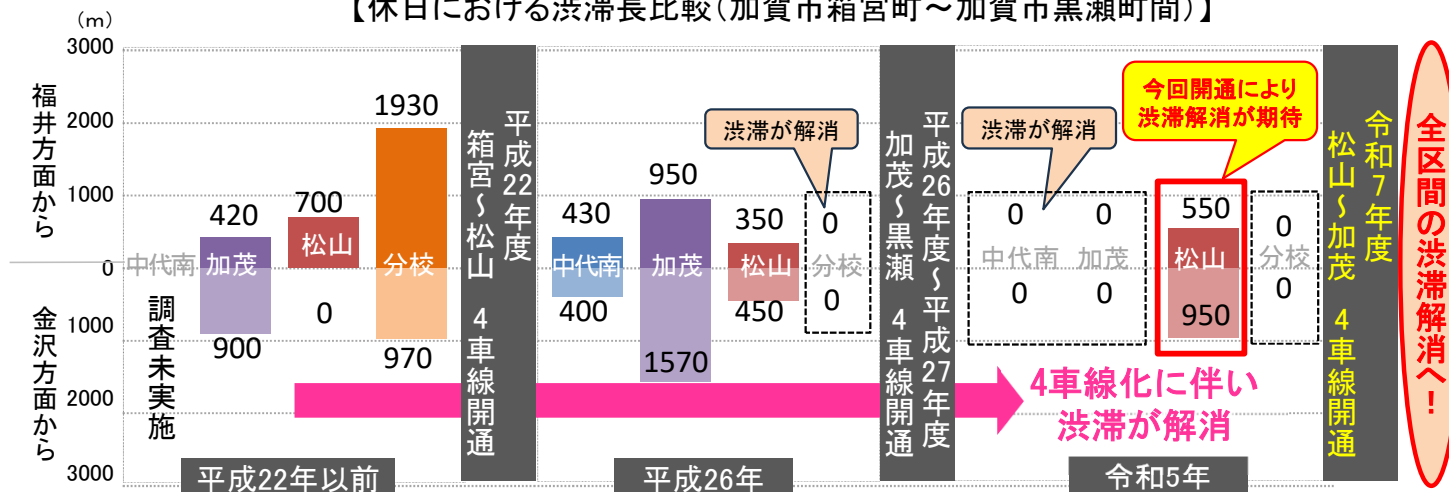
加賀拡幅の全線4車線開通による効果

整備効果① 渋滞の緩和

- 加賀拡幅は、平成22年度に箱宮町～松山町間、平成26～27年度にかけて加茂町～黒瀬町間と段階的に4車線区間が整備されました。
- 4車線化に伴い、事業区間で慢性的に発生していた渋滞が徐々に解消されており、今回の全線開通により、全区間での渋滞解消が期待されます。



【休日における渋滞長比較(加賀市箱宮町～加賀市黒瀬町間)】



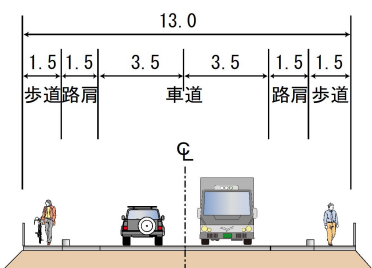
整備効果② 安全性の向上

- 4車線化による渋滞の解消に伴い、渋滞が原因と想定される追突事故が減少したほか、中央分離帯や自転車歩行者道など、ゆとりある道路空間の整備により、事業区間の安全性の向上に寄与しています。
- 今回の全線4車線開通により、松山町～加茂町間を中心に渋滞が原因と考えられる追突事故が減少するとともに、正面衝突や自転車歩行者が関連する死傷事故の抑止が期待されます。

断面

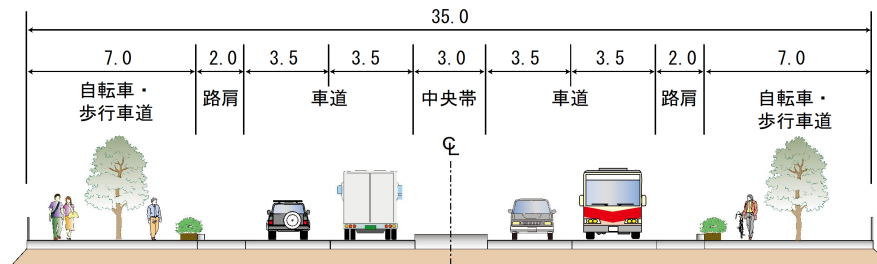
【整備前】

- ・歩道狭小
- ・中央分離帯なし



【整備後】

- ・自転車歩行者のための幅員確保
- ・中央分離帯の整備



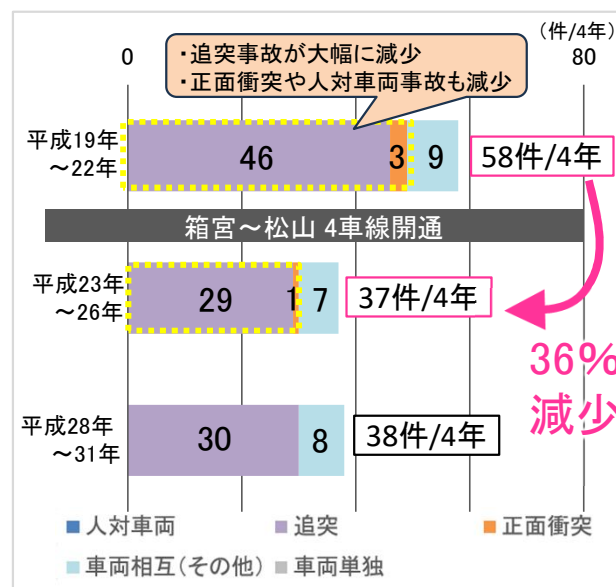
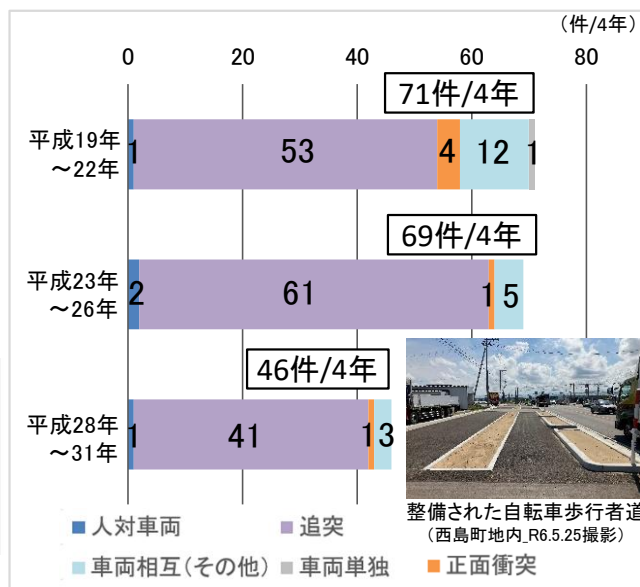
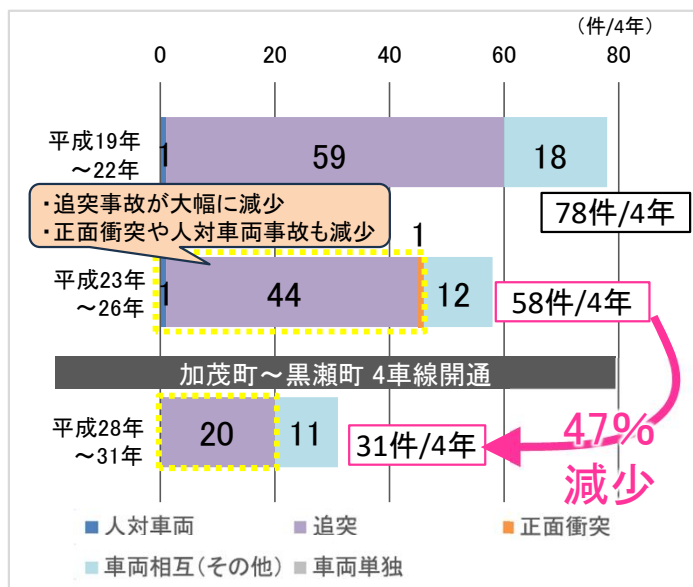
区間

加茂町～黒瀬町(延長2.2km)
平成26～27年度開通

松山町～加茂町(延長2.2km)
令和7年12月1日開通

箱宮町～松山町(延長2.0km)
平成22年度開通

事故件数の推移



整備効果③ 地域間の連携強化と観光支援

- 国道8号は、県内外を南北につなぐ重要な路線であり、当該区間の整備や、隣接する小松バイパス整備が一体となって、南加賀地域の連携強化に繋がることが期待されます。
- 当該区間周辺に位置する加賀温泉郷では、コロナ禍を経て宿泊者数も回復傾向であり、加賀拡幅の全線4車線化により、温泉郷から県内外の観光施設へのアクセスが更に向上し、広域周遊観光に寄与します。

【加賀温泉駅からの到達域の変化】



片山津温泉



山代温泉



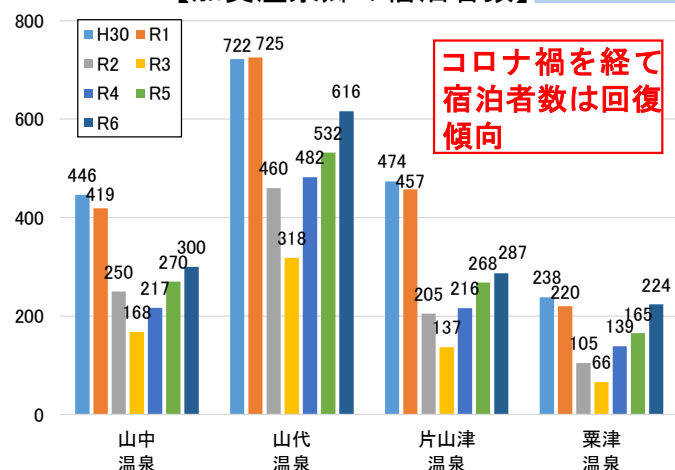
山中温泉



粟津温泉

写真提供：石川県観光連盟

(千人泊) 【加賀温泉郷の宿泊者数】



出典：統計からみた石川県の観光（R1～R6）

コロナ禍を経て
宿泊者数は回復
傾向



出典：観光施設：「まるごと観光マップ2025（公益社団法人石川県観光連盟）」「福井県観光客入込数（福井県）」に記載の観光地
30分圏域：平成17年（H17交通センサス旅行速度（平日混雑度））、令和7年（ETC2.0プローブデータ（R7.6））

国道8号加賀拡幅

全線4車線開通にかかる取材申し込みについて

下記の必要事項を、11月26日(水)午後5時までに
【メール:kanazawa-chou2@hrr.mlit.go.jp】
へ送信してください。

■必要事項

- ・貴社名
- ・参加代表者名
- ・連絡先(電話番号)
- ・連絡先(メールアドレス)
- ・代表者以外の参加者名
- ・駐車場必要台数

※駐車場につきましては、別途ご案内させていただきます。